



イランカラヴァン  
「こんにちは」から始める。

# むろけん RUN

VOL.22

北海道開発局

～ 室蘭開発建設部の事業や職員の姿を発信 ～

2015.12.9

【発行・編集責任者】

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14

北海道開発局室蘭開発建設部

広報官 0143-25-7051

地域振興対策官 0143-25-7053



## 日高自動車道の工事現場を間近で見学！

～室蘭工業大学 現場見学会～

平成27年10月15日(木)、「土木の日(十一月十八日)」の取組の一環として、土木を学んでいる室蘭工業大学 社会基盤工学科の3年生を対象に、日高自動車道門別厚賀道路の工事について現場見学会を行い、学生たちの先輩(室工大卒)の若手職員が工事に関する説明を行いました。



「学生を対象にした土木の日の見学会」

- ◆ 9 / 8 (火) 室蘭工業高等学校  
担当：苫小牧河川事務所、苫小牧道路事務所
- ◆ 9 / 11 (金) 苫小牧工業高等学校  
担当：苫小牧港湾事務所、二風谷ダム管理所、苫小牧道路事務所
- ◆ 10 / 15 (水) 室蘭工業大学  
担当：苫小牧道路事務所、沙流川ダム建設事業所
- ◆ 10 / 29 (水) 苫小牧工業高等学校  
担当：胆振東部農業開発事業所、沙流川ダム建設事業所



苫小牧道路事務所 第2工務課  
第1工務係 小栗技官  
(H26年度採用)

今回の見学会に向けて開発局の仕事を理解してもらえるように資料等を準備して臨みました。

現在の3年生は私がまだ在学中に同じ校舎内にいた人達ということもあり多少の気恥ずかしさもありましたが、説明を真剣に聞いている姿を見て関心の高さを感じ、彼らが入局してくるのがとても楽しみになりました。

○日高自動車道は、苫小牧市から浦河町に至る、約120kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)です。現在、日高門別ICまで開通しています。

○今回見学した、日高町の「清島改良工事」と「清島橋下部工事」は、日高自動車道の門別厚賀道路における、日高門別IC～厚賀IC(※仮称)で行っている橋梁工事です。門別厚賀道路は平成29年度の開通を目指し鋭意整備を進めています。

写真：清島橋下部工事



# 室蘭開発建設部の観光ホームページ

担当部署から一言



地域振興対策室では、各種イベントや地域の魅力ある取組など胆振・日高管内の観光振興に繋がる情報を発信しています。皆さんが当地を訪れる際の参考にしていただけると幸いです。

室蘭開発建設部では、ホームページの中に胆振・日高管内の観光に関するページを掲載しています。各地のイベント情報、観光やイベントでの職員の体験記、美しい風景などのフォトギャラリー、「魅力ある地域づくり」として食やジオパークなど管内の特色ある活動を取材したものを紹介しています。

## アクセス

室蘭開発建設部

河川・ダム 砂防・海岸 道路 港湾・漁港 農業

災害・防災情報

室蘭開発建設部の紹介

管内の観光体験など紹介

ぜひ体験！ いぶひだかの観光情報

室蘭開発建設部HPのバナーをクリック！

国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部の魅力体験！

いぶひだかの観光情報

北海道の距離地方・日高地方の観光体験や交通アクセスをご紹介します！！

観光トップページ

- イベント情報 2015年11月～12月を更新しました。(2015.11.10) [詳しくはこちら](#)
- イベント情報 2015年10月を更新しました。(2015.9.7) [詳しくはこちら](#)
- イベント情報 2015年4月～6月を更新しました。(2015.4.10) [詳しくはこちら](#)
- イベント情報 2015年4月～6月を更新しました。(2015.3.10) [詳しくはこちら](#)

## ★ 魅力ある地域づくり

管内の特色ある活動を独自取材し、当部署からの関わり等を紹介

魅力ある地域づくり

道の駅ウナイ湖 ハスカップジャムはパンやヨーグルトと相性抜群

道の駅ウナイ湖

道の駅ウナイ湖では、ハスカップジャムや北青玉(ほっきだま)、肉まんなどの食品のほか、野鳥のステッカーなど多彩な商品が用意されています。是非一度お立ち寄りください。また、渡りの季節には多数の野鳥がウナイ湖に飛来するため、バードウォッチングが楽しめます。

道の駅ウナイ湖

ハスカップジャム(無添加)道の駅ウナイ湖

ハスカップジャム(無添加)道の駅ウナイ湖

これが「ハスカップジャム」、なんと無添加食品。原材料は厚岸産のハスカップと道産のビート糖だけです。お子様や女性へのお土産に最適です。

ハスカップ栽培農家の皆さん

ハスカップは果汁が多いため手作業で収穫します。そのため収穫量が限られるので貴重品です。

「産学官・農商工連携でハスカップの産物加工」の記事が掲載されています。(財)科学技術振興機構

「ハスカップ、アロニアを使った抗酸化機能性を有するジャムの開発」の記事が掲載されています。(財)北海道科学技術総合振興センター

道の駅 その他の商品

普通のとこ焼きに見えますが、中には道小牧市で焼いたホッキが入っています。ソースは3種類あるので微妙な味の違いが楽しめます。

売り手の女性が高校生の時に考案した肉まんです。職人の腕を凝らしていますので、味には自信があります。

無添加という言葉に心を惹かれ、苫小牧市内にあるハスカップ商品の開発をしている会社を訪見、お話を伺いました。

大西社長

ハスカップとヨーグルト

★ ハスカップジャムを作ろうと思った動機は？

お客様や市民の方からジャムにして食べたいとの要望が動機ですね。市販品との違いを出そうと無添加にこだわったので完成まで1年かかりました。ベジチン(増粘剤)を入れると比較的簡単に作れますが、ご家庭では使えないと思います。食べ物としてはパンに塗るのも良いですが、お勧めはプレーンのヨーグルトやアイスクリームにトッピングするのが最高ですね。

★ 何が難しかったのですか？

加熱時間ですね。時間をかけすぎると固くなりビタミンCも壊れてしまい、酸味になります。かといって加熱時間が短いとハスカップ自体は果汁が多いのでジャムにはなりませんので、その見極めですね。

★ ハスカップの特徴は？

抗酸化作用のあるポリフェノール類のアントシアニンはブルーベリーより多く、鉄分や亜鉛、マグネシウムなどのミネラルが他の果物に比べて豊富に含まれています。果の中には渋みの強いものがありますが、緑茶などに含まれるタンニンです。これもポリフェノールの一種です。

★ ジャム以外の商品で、お勧めのものは？

ハスカップを顆粒状にしたロゼセラという商品があります。ヨーグルトやアイス・焼酎に混ぜたりしても良いですね。

★ 開発行政について何か意見はありますか？

苫小牧港は開発局が人工的に造った港ですが、港ができたことにより企業が進出して雇用が確保できたのは、街全体を考えた良かったと思います。ホッキ貝やハスカップなどの自然なものと港などのインフラ設備が共存共栄していければ良いですね。

## ★ イベント情報

・胆振・日高管内のイベント情報を掲載

観光トップページ > イベント情報

イベント情報

胆振・日高地方で行われるイベントをご紹介します。

過去のイベント情報はこちら

※各イベント情報は変更になる場合があります。事前にご確認の上お出かけください。

11月・12月 ロングラン

2015年

★ 11月のイベント

苫小牧市 とまこまいコスプレフェスタ

開催日: 2015年11月7日(土)～8日(日)

場所: 苫小牧市 グランドホテルニュー王子 他

お問い合わせ: 同実行委員会 0144-32-6448

関連するホームページは [こちら](#)

☆ 産業界のまち「とまこまい」を舞台に官民が協力し、コスプレイヤーのために撮影スポットを提供します。道内外から大勢のコスプレイヤーが集結し、協賛イベントも市内各所で行われます。一般市民も楽しめるイベントです。

日高町 ホッカイドウ競馬ファン感謝イベント

開催日: 2015年11月12日(木)

場所: 日高町 門別競馬場

お問い合わせ: 門別競馬場 01456-2-4110

関連するホームページは [こちら](#)

☆ ホッカイドウ競馬の1年を締めくくるイベント。日高管内の農産物や海産物などを集めた「ひだか特産市」や、競馬グッズが当たる抽選会などが行われます。 ※イベント内容は予定です。

洞爺湖町 ゲデン・ゲデンハブツアール

開催日: 2015年11月13日(金)～12月13日(日)

場所: 洞爺湖町 洞爺湖温泉街

お問い合わせ: 洞爺湖温泉飲食店組合 0142-75-4728

☆ 食べる、飲む、泊るを存分に楽しめる洞爺湖温泉スペシャル企画。治食分庵で食事、二次会、宿泊施設を自由に選択できます。

## ★ 観光体験記

・当部署職員の観光・イベント体験記を紹介

観光トップページ > 観光体験記 > 豊浦の秘境めぐり 小幌海岸探索会(vol. II)～2014

豊浦の秘境めぐり 小幌海岸探索会(vol. II)～2014

小幌海岸探索会が、5月10日(土)に開催され、約50名の参加者で賑わっていました。このイベントは豊浦町教育委員会が主催し、NPO法人「森・水・人ネット」、豊浦町郷土研究会の協力で開催されました。

2012年の「小幌海岸探索会」参加レポートはこちら

JR小幌駅は室蘭本線がまだ単線の時代、列車の待機場所と保線の目的で作られた駅で、周囲に集落は無く多くの自然が残っています。テレビで秘境駅として紹介され鉄道ファンも多く訪れます。

また、駅の下海岸にある小幌洞窟には、2000年以上以上の縄文時代晩期から洞窟内部に人間が住んでいた痕跡が調査により確認されています。

※写真をクリックすると拡大します。

JR小幌駅 (鉄道ファンも来ています。)

村井豊浦町長も参加

## その他のコンテンツ

### ★ フォトギャラリー

・職員撮影や市町から提供された写真を掲載



### ★ 観光あれこれ

・観光パンフレット、書籍、団体などを紹介

### ★ 交通アクセス

・胆振・日高の各地への交通アクセス地図を掲載



### ★ リンク集

・各種関連団体へのリンク